

(4) 酸素ポンベの交換

酸素残量計の針が“赤”の位置にきたら酸素ポンベを交換してください。

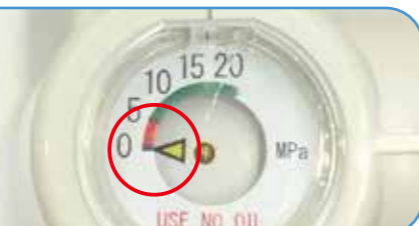
- 1 酸素ポンベの元栓(バルブ)を右に回してしっかり閉めてください。



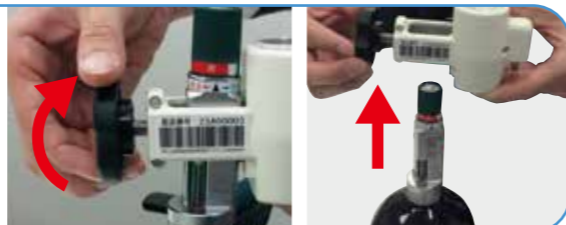
- 2 酸素供給モードを「連続」にして、チューブ内の酸素を抜きます。



- 3 酸素残量計の針が“ゼロ”になっていることを確認してください。



- 4 取付ハンドルを左に回し流量調整器を酸素ポンベよりはずしてください。



- 5 新しい酸素ポンベに流量調整器を付け替えます。カニューラはつけたままで構いません。

確認 必ず本体にパッキンがついている事を確認してください。



© 2019 Philips Japan, Ltd. PN 1136086/190410 R3-W

携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関名・取扱業者名などを必ずお伝えください。

製造販売業者
ダイキン工業株式会社

販売業者 **株式会社フィリップス・ジャパン**
〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号 フィリップスビル
www.philips.co.jp/healthcare
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の営業所・出張所・駐在まで
※営業所・出張所・駐在の連絡先は以下のURLで公開しています
www.philips.co.jp/SRC-Office

■ かかりつけ医療機関名

■ 機器のトラブルは... 24時間対応、安心の技術サポート
平日 9:00~17:30 地域営業所・出張所・駐在

■ 酸素のご注文先

夜間・土日受付 営業所・出張所・駐在の対応日・対応時間外 受付
機器安全センター **0120-633-881**



携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器の使い方 (ライトテックDS23)

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

酸素はおくすり！ 医師の処方量を必ず守りましょう。

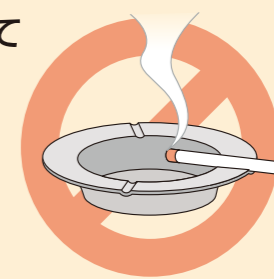
酸素をきちんと吸うことで心臓の他、あなたの臓器が、守られます。酸素はおくすりと同じで、体に必要な量をおぎなう為に処方されています。しかし「息切れ」は必ずしも酸素不足だけが原因で起こるものではありません。「息切れ」が強いからといって勝手に酸素流量を変えてはいけません。

！ 火気からは2m以上離れてご使用ください。

酸素自体が爆発したり、燃えたりはしませんが、燃えているものをさらに燃えやすくする性質があります。

とくに、たばこは厳禁！

高濃度の酸素を吸入中に、たばこ等の火気を近づけるとチューブや衣服等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因となります。



(1) 吸入の準備

- 1 流量調整器にパッキンがついていることを確認します。



- 2 流量調整器の位置合わせピンと酸素ボンベの位置合わせ穴を合わせるようにセットします。



- 3 取付ハンドルを右に回し、しっかりと閉めます。カニューラをカニューラ接続口にとりつけてください。



(2) 吸入の開始

- 1** 酸素ポンベの元栓(バルブ)をゆっくり左に回して全開にし、少し戻してください。酸素残量計の針が“緑”の範囲を指します。

確認 残量を確認してください。針が赤の位置の場合は酸素ポンベを交換してください。

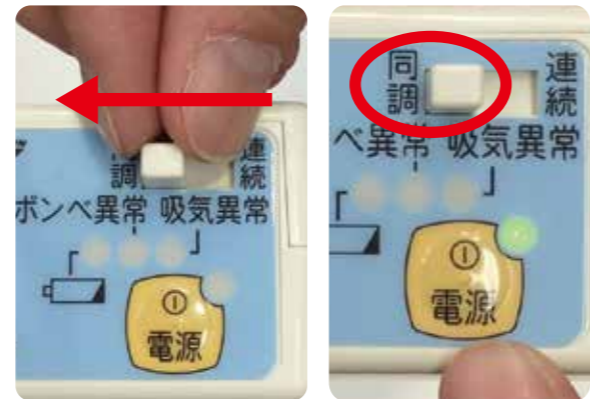


- 2** 流量設定つまみを処方された流量に合わせてください。



- 3** 酸素供給モードを「同調」にし、電源スイッチを“ピッ”と音がするまで押してください。

確認 電源が入ると運転表示[吸気確認](緑)が点灯します。



- 4** カニューラより吸入してください。

確認 吸気に合わせて運転表示[吸気確認](緑)が点灯します。



(3) 吸入の終了

- 1** 酸素ポンベの元栓(バルブ)を右に回して閉めてください。



- 2** 電源スイッチを“ピッ”と音がするまで押し、電源をきります。酸素供給モードを「連続」にしてチューブ内の酸素を抜きます。カニューラを外してください。



- 3** 酸素残量計の針が“ゼロ”になったことを確認してください。



各部の名称

